



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月5日

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社  
コード番号 5742 URL <https://www.nic-inc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 西川浩司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 2022年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,842	2.6	84	2.1	103	18.8	74	25.5
2022年3月期第1四半期	1,795	38.3	83		87		59	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 52百万円 (113.3%) 2022年3月期第1四半期 24百万円 ( % )

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2023年3月期第1四半期	13.74	
2022年3月期第1四半期	10.95	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	8,751	4,577	4,577		52.3
2022年3月期	8,713	4,639	4,639		53.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 4,577百万円 2022年3月期 4,639百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2022年3月期		20.00		21.00	41.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		20.00		21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

アルミ地金価格をはじめとした原材料価格の高騰および調達部品の入手遅延等が続いている一方で、2023年3月期の期首より、当初の想定に反し、様々な案件の引き合いが増加傾向にあることから、今後の動向を見極めるには今暫く時間を要すると判断し、現時点での連結業績予想の公表につきましては控えさせていただいております。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	5,500,000 株	2022年3月期	5,500,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	51,446 株	2022年3月期	51,446 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	5,448,554 株	2022年3月期1Q	5,448,554 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
3. その他	10
受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が徐々に少なくなり、経済活動の正常化に向けた動きが見受けられるものの、世界的な半導体不足による部品調達の遅延やCOVID-19の感染拡大の影響による物流の停滞、さらに不安定な世界情勢を受けたサプライチェーンの混乱等、グローバル要因による需給ギャップが拡大し、原材料価格を含めたインフレーションが加速している状態であることから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下においても、当社主力製品である「アルファフレームシステム」の販売は、回復基調で推移いたしました。FA装置関係につきましては、半導体業界や電子部品業界への需要が依然として拡大しており、また、自動車業界ではEV（電気自動車）化や蓄電池関連等への積極的な設備投資が見受けられましたが、大規模な設備投資までには至らず、新規設備投資としては小規模な案件に留まる状況で推移いたしました。これら案件に対して当社は、確実に受注に繋げるとともに、一部停滞していたFPD製造企業向けクリーンブースの案件についても積極的に受注を確保致しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,842百万円（前年同四半期比102.6%）、営業利益は84百万円（前年同四半期比102.1%）、経常利益は103百万円（前年同四半期比118.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は74百万円（前年同四半期比125.5%）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### [アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、COVID-19の影響による営業活動への障害もほぼ解消され、一般顧客向けの販売では期初より安定的な受注を確保し、回復基調で推移いたしました。特に当社独自の設計サポートサービス「カクチャ™」及び組立作業の省力化を可能とする「マーキングシステム™」を活用した案件が伸びました。また、特定顧客からの継続的な大口案件についても堅調に推移したことにより、前年同四半期を上回る売上高となりました。

この結果、当部門の売上高は1,273百万円（前年同四半期比111.3%）となりました。

#### [装置部門]

装置部門におきましては、主要顧客である自動車部品製造企業が大規模な機械設備の導入を控え、その動きが停滞している状況において、洗浄装置を中心とした案件を多数獲得するとともに、一部停滞していたFPD製造企業向けクリーンブースの案件を複数受注いたしました。

この結果、当部門の売上高は357百万円（前年同四半期比180.9%）となりました。

#### [商事部門]

商事部門におきましては、主要顧客各社ともに消耗品や治工具類の需要が安定的となっており、これらの売上高は堅調に推移し、機械設備関係についても複数の大型案件を受注いたしました。しかしながら、これら機械設備関係の納入時期が下半期に集中していることから、当第1四半期連結累計期間においては、前年同四半期を下回る状況となりました。

この結果、当部門の売上高は211百万円（前年同四半期比46.6%）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産・負債・純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末と比べ38百万円増加し、8,751百万円となりました。これは主に、電子記録債権が215百万円、原材料及び貯蔵品が165百万円、建物（純額）が846百万円、土地が177百万円、それぞれ増加した一方で、現金及び預金が262百万円、建設仮勘定が1,124百万円、それぞれ減少したことなどによりります。

負債は前期末と比べ100百万円増加し、4,173百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が28百万円、電子記録債務が11百万円、賞与引当金が38百万円、それぞれ増加した一方で、長期借入金が33百万円減少したことなどによりります。

純資産は前期末と比べ61百万円減少し、4,577百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上74百万円があった一方で配当金の支払い114百万円があったことにより、利益剰余金が39百万円減少したことや、その他有価証券評価差額金が26百万円減少したことなどによりります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前期末と比べ262百万円減少し、374百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の194百万円のキャッシュ・インに対し、106百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは税金等調整前四半期純利益が103百万円あったことや仕入債務の増加による資金の増加40百万円があった一方で、売上債権の増加による資金の減少193百万円や棚卸資産の増加による資金の減少190百万円ならびに法人税等の支払額が45百万円あったことなどが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の101百万円のキャッシュ・アウトに対し、2百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは有形固定資産の取得による支出が8百万円あったことや有形固定資産の売却による収入が14百万円あったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の123百万円のキャッシュ・アウトに対し、156百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは長期借入金の返済による支出が33百万円あったことや配当金の支払額が111百万円あったことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、世界的な半導体不足による部品調達の遅延やCOVID-19の感染拡大の影響による物流の停滞、さらに不安定な世界情勢を受けたサプライチェーンの混乱等、グローバル要因による需給ギャップが拡大し、原材料価格を含めたインフレーションが加速している状態となっております。かかるインフレーションの加速を抑制すべく、各国中央銀行は積極的に金融引き締めを行っておりますので、今後、物価に押し下げ圧力が働き、物価は安定していくものと見込んでおります。なお、金融引き締めによって経済活動が一時的に抑制されることにもなりますが、物価が安定することによって、また、今後の各国の経済対策等によって、経済活動及び生産活動は、緩やかながらも回復基調で推移していくと予想しております。

このように、アルミ地金価格をはじめとした原材料価格の高騰が続いている一方で、期首より当初の想定に反し、様々な案件の引き合いが増加傾向にあることから、今後の動向を見極めるには今暫く時間を要すると判断し、当期の連結業績予想の公表につきましては控えさせていただいております。

なお、動向を見極めることが出来次第、速やかに開示する所存であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	636,690	374,337
受取手形、売掛金及び契約資産	1,104,409	1,082,253
電子記録債権	1,404,892	1,620,259
商品及び製品	164,712	186,095
仕掛品	479,895	482,770
原材料及び貯蔵品	454,050	619,880
その他	91,434	53,985
流動資産合計	4,336,086	4,419,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,089,342	3,971,798
減価償却累計額	△1,554,015	△1,589,911
建物及び構築物（純額）	1,535,326	2,381,886
土地	733,647	910,693
その他	2,340,898	1,299,649
減価償却累計額	△766,293	△774,584
その他（純額）	1,574,605	525,065
有形固定資産合計	3,843,579	3,817,645
無形固定資産		
その他	37,796	35,015
無形固定資産合計	37,796	35,015
投資その他の資産		
その他	495,747	479,142
投資その他の資産合計	495,747	479,142
固定資産合計	4,377,123	4,331,803
資産合計	8,713,210	8,751,385

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	609,286	637,770
電子記録債務	954,308	965,892
契約負債	390	—
1年内返済予定の長期借入金	197,000	197,000
未払法人税等	54,359	42,050
賞与引当金	69,036	107,061
製品保証引当金	1,199	1,167
その他	199,739	234,985
流動負債合計	2,085,320	2,185,928
固定負債		
長期借入金	1,606,000	1,573,000
退職給付に係る負債	228,802	234,826
その他	153,581	180,008
固定負債合計	1,988,383	1,987,834
負債合計	4,073,703	4,173,763
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	145,636	145,636
利益剰余金	4,302,199	4,262,692
自己株式	△34,791	△34,791
株主資本合計	4,569,144	4,529,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,450	21,342
為替換算調整勘定	22,879	26,607
その他の包括利益累計額合計	70,329	47,950
非支配株主持分	32	33
純資産合計	4,639,506	4,577,622
負債純資産合計	8,713,210	8,751,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	1,795,870	1,842,054
売上原価	1,410,278	1,440,606
売上総利益	385,592	401,448
販売費及び一般管理費	302,361	316,485
営業利益	83,230	84,962
営業外収益		
受取配当金	1,520	1,445
仕入割引	1,050	2,129
為替差益	1,700	1,577
固定資産売却益	1,348	14,844
その他	590	680
営業外収益合計	6,210	20,677
営業外費用		
支払利息	2,137	1,927
その他	30	53
営業外費用合計	2,167	1,981
経常利益	87,273	103,658
税金等調整前四半期純利益	87,273	103,658
法人税、住民税及び事業税	38,650	37,703
法人税等調整額	△11,070	△8,955
法人税等合計	27,580	28,747
四半期純利益	59,693	74,911
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	59,702	74,913

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	59,693	74,911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,664	△26,108
為替換算調整勘定	△3,397	3,731
その他の包括利益合計	△35,062	△22,376
四半期包括利益	24,631	52,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,642	52,533
非支配株主に係る四半期包括利益	△11	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	87,273	103,658
減価償却費	57,890	71,030
賞与引当金の増減額 (△は減少)	36,146	38,024
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	199	△32
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2,016	6,024
受取利息及び受取配当金	△1,521	△1,930
支払利息及び手形売却損	2,137	1,927
固定資産売却損益 (△は益)	—	△14,844
売上債権の増減額 (△は増加)	△18,065	△193,039
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△16,514	△190,087
仕入債務の増減額 (△は減少)	107,333	40,068
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△19,361	36,023
為替差損益 (△は益)	△1,088	—
その他	26,986	42,753
小計	259,398	△60,422
利息及び配当金の受取額	1,521	1,844
利息の支払額	△2,137	△1,927
法人税等の支払額	△63,824	△45,670
営業活動によるキャッシュ・フロー	194,957	△106,176
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△90,185	△8,482
有形固定資産の売却による収入	—	14,844
無形固定資産の取得による支出	△1,082	△1,025
投資有価証券の取得による支出	△1,200	△1,200
その他	△8,960	△7,113
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,428	△2,977
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△33,000
配当金の支払額	△111,297	△111,411
その他	△11,878	△12,408
財務活動によるキャッシュ・フロー	△123,176	△156,820
現金及び現金同等物に係る換算差額	745	3,620
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△28,901	△262,353
現金及び現金同等物の期首残高	1,461,114	636,690
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,432,212	374,337

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

### 3. その他

#### 受注及び販売の状況

##### ① 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	1,103,284	100.0	1,186,291	88.3
装置部門	205,372	70.3	196,259	67.1
商事部門	581,917	134.2	705,519	115.6
合計	1,890,574	103.4	2,088,071	92.9

##### ② 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
アルファフレーム部門	1,273,011	111.3
装置部門	357,305	180.9
商事部門	211,736	46.6
合計	1,842,054	102.6